



◎本ニュースレターは、木曽三川流域におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関連する地域の取り組み情報を発信するものです◎

エコネット応援団に加入している市民団体や企業、学校など、応援団同士が連携したイベントの活動報告が届きました。1つの団体ではできないことも、複数の団体がチカラを合わせることで実現可能となったり、より充実した活動へと繋がります。「応援団にはどんな仲間がいたかな?」と、ちょっと気にしてみてくださいね!

## 〔岐阜県 池田町 中川〕

池田町ハリヨを守る会さまと  
池田高校さまより 活動報告です!

2023年7月29日(土)、8月7日(月)

### 池田町ハリヨを守る会と 岐阜県立池田高等学校が 藻刈りとハリヨの 生息調査を行いました



#### 池田町ハリヨを守る会(代表:林たかひ様)のレポート

池田町、中川におけるハリヨの生息調査は、昭和60年からの記録が残っており、年に一回定点において継続して行っているものです。

その生息調査を行う前に、川の中の藻(アオミドロ・カナダモ・ヘラモ等)を取り除き、投網を打ちやすい環境にすることを目的の一つにしているのが“藻刈り”です。しかし一方では、取り除き過ぎるとハリヨの生息に影響を与えてしまうことも事実であり、加減が難しいところです。

結果としては、ここ数年徐々にハリヨの生息数は増えていましたが、今回は若干少なくなっていました。投網は、人が打つものなので、上手かったり、下手であったりという事にも左右されます。この結果に一喜一憂するのではなく、長い目で見ながら改善を心がけていくことが大切であると思います。

ハリヨを守ることは地元の人と環境を守ることであると考えております。ゴミを捨てない、川を汚さない事を念頭に、水質環境保全に努めると同時に、監視・保護活動に取り組み、豊かな自然と心安らぐふる里づくりを行っていきたくと考えております。

### 岐阜県立池田高等学校のレポート

私たちは、平成16年度よりこの活動に参加しています。「ハリヨを守る会」は地域の宝であるハリヨを地元住民の力で守ろうとされています。地元の高校として、このような活動を次の世代につないでいくこと、ハリヨが住む豊かな自然環境を守ることによって地域の魅力を高めていくことを目標にしています。

まず、生息数調査に向けて繁茂した藻を刈ります。ウェダーを履いて水中で活動するのはとても大変であり、ご高齢の方も多いハリヨを守る会に少しでも力になれるように頑張っています。調査当日は投網によって捕らえた水生生物からハリヨを探し急いでカウントします。ハリヨは低水温を好むので、素早くカウントし、川に戻すことはとても大切です。

また、生息数調査の後には岐阜協立大学の森誠一教授を交えた座談会が行われました。地元の高校生として調査・研究活動に対しても期待する意見を頂き、現在は定期的に水温と水質の調査をしています。生物多様性を守り、それを育む貴重な環境を持続させていくことを今後も目指していきます。



▲藻刈り活動の様子。胸のあたりまで水に浸かり、両手鎌で根元から水草を刈り取ります



▲生息数調査の様子。ハリヨを目視によって識別し、個体数をカウントしています

## 〔岐阜県 海津市 津屋川〕

木曽川下流河川事務所さんより活動報告です!

2023年9月15日(日)

### 川の生き物ふれあい体験を行いました!



木曽川下流河川事務所では、ニホンウナギ生態系ネットワーク推進部会の活動の一環として、令和4年度に引き続き海津市立下多度小学校4年生の皆さんと、川の生き物ふれあい体験を津屋川で実施しました!

石倉カゴを用いたニホンウナギの生態調査を題材に、身近な川の生物や生態系ネットワークについて理解を深めました。

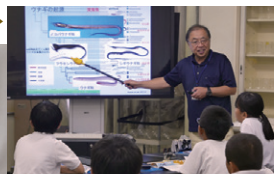
午前は、ニホンウナギの生態や生態系ネットワークとは何かについて学びました。生態については、ニホンウナギの研究を専門とされている九州大学の望岡先生をお招きし、詳細にご説明いただきました。授業の中で紹介のあった幼生(レプトケパルス)の標本には、生徒さんも興味津々で観察していました。

望岡先生によるニホンウナギに関する授業



▲ウナギの標本に興味津々!

川の生き物にふれあう小学生たち



午後からは津屋川に移動して、設置してから約3ヶ月が経過した石倉カゴに一体どんな生き物が入っているか、実際に川の中に入って観察を行いました。どの生徒さんも積極的に川に入り、石倉カゴの中にいた魚類、エビ、カニ等の生き物を夢中になって観察をしていました。

石倉カゴでとれた様々な生き物たちとふれあい体験を通して、身近な川の生き物やその環境の大切さを知ってもらうことができたと思います。

〔愛知県一宮市〕

## 三井住友信託銀行一宮支店にて 「イタセンバラのロビー展」を開催中!

応援団参加団体の三井住友信託銀行一宮支店にて、一宮市立起小学校や愛知県立一宮高等学校生物部の皆さんとコラボした、イタセンバラに関するロビー展が開催されています!

起小学校4年生の皆さんが制作した、イタセンバラの生態や生息地である木曽川の生態系に関するポスターやクイズ、一宮高等学校生物部の皆さんが制作した、イタセンバラの特徴や繁殖方法、生息地木曽川の生態系に関する情報が掲載されています。



▲起小学校4年生の皆さんが制作した、イタセンバラの生態や生息地である木曽川の生態系に関するポスターやクイズ。



▲一宮高等学校生物部の皆さんが制作した「イタセンバラの保護活動に関するポスター」。イタセンバラの特徴や繁殖方法、生息地木曽川の生態系に関する情報が掲載されています。

▼一宮高等学校生物部によるオリジナルデザインのグッズ。

イタセンバラを飼育展示している水槽の横には、一宮高等学校生物部の皆さんが制作したイタセンバラのメモ帳やマグネット、キーホルダー等が展示・配布されています。デザインは一宮高等学校生物部のオリジナルで、木曽川のイタセンバラの可愛らしさと、生態を知ってほしいという願いや、特徴を分かりやすく伝えたい、というこだわりが感じられるものです。

ぜひ三井住友信託銀行一宮支店にて開催中の「イタセンバラのロビー展」にお立ち寄りいただき、イタセンバラのかわいらしさに触れながら、かわいいグッズをGETしましょう!

## イタセンバラのお菓子 『幸センバラ (しあわせんばら)』 好評販売中!

御菓子処「黄金堂」から、イタセンバラをイメージしたお菓子「幸センバラ (しあわせんばら)」というミルク饅頭が発売中です。

イタセンバラをもっと多くの人々に知ってもらう為に、羽島市の新たなお土産として考案されました。

御菓子処「黄金堂」は、岐阜県の羽島市で「地元を愛す」をモットーの一つ一つ丹誠を込めて和菓子を作っています。



しっとりした生地で、上品なミルク餡の甘さのバランスが絶妙な饅頭です。

## 新しいグッズが仲間入りしました!

「木曽三川流域エコネット応援団」事務局では、パネル・ポスター資料の貸出など、応援団の皆さんの活動を支援しています。今回は新しいグッズが仲間入りしましたので、ご紹介します!

### イタセンバラのイラスト入りマスク



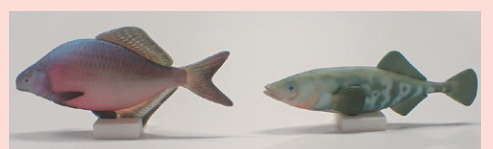
ハリヨ、ウナギのマスクもあります!



◀劇団シンデレラのみなさん

### 3Dフィギュア

ハリヨ、イタセンバラ各2種類。約3~4cmのもの、10cmのものがあります。



ご希望の方は、下記の事務局窓口までお問い合わせください。

## 掲載用情報を募集しています!

事務局では、このニュースレターやfacebook ページで、木曽三川流域におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関連する地域の取り組み情報を発信しています。生物多様性の保全や生きものを活用した地域づくりなど、応援団の皆さんからの投稿・情報提供を随時募集中です。下記お問い合わせ先まで、お気軽に情報をお寄せください。(なお、紙面の都合等で取材・掲載できない場合もありますこと、予めご了承ください。)

事務局では、このニュースレターやfacebook ページで、木曽三川流域

におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関連する地域の取り組み情報を発信しています。生物多様性の保全や生きものを活用した地域づくりなど、応援団の皆さんからの投稿・情報提供を随時募集中です。下記お問い合わせ先まで、お気軽に情報をお寄せください。(なお、紙面の都合等で取材・掲載できない場合もありますこと、予めご了承ください。)



木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会(事務局:国土交通省木曽川上流河川事務所)は、川とともに育まれてきた流域の自然や文化を保全・活用し、地域の魅力を向上させるとともに、人と自然・人と人との絆を深めることを目的とし、流域の市民団体・自治体・有識者・河川管理者等によって、平成26年度に設立されました。

本協議会では、木曽三川流域において、自然環境を保全・再生・創出してつなげる「生態系ネットワーク形成」に関連する活動を行う(または賛同する)、地域のさまざまな団体等に参加していただく「木曽三川流域エコネット応援団」を結成しています。応援団の皆さんの活動に関する情報共有等を図ることにより、地域の交流・協働を促進し、取り組みのさらなる発展を目指していきます。

「木曽三川流域生態系ネットワーク」ホームページ <https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojo/econet/index.html>

木曽三川流域エコネット応援団 事務局: 国土交通省 木曽川上流河川事務所 流域治水課 (岐阜県岐阜市忠節町 5-1)

【問い合わせ先】木曽川上流河川事務所 流域治水課 e-mail: [cbr-kisojo-choa@mlit.go.jp](mailto:cbr-kisojo-choa@mlit.go.jp) / tel: 058-251-1125

ぜひご覧ください!



Facebookにて  
情報を発信中!

<https://www.facebook.com/kisosanseneconet/>

